

BD / DVD

セットアップガイド

BRD-SP8 この度は、「BRD-SP8」(以下、本製品と呼びます。)をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご使用前に「本書」をよくお読みいただき、正しいお取り扱いをお願いいたします。

I-O DATA

B-MANU201025-01

動作環境の確認

	ブルーレイディスク/DVD映像編集時、Blu-ray Disc/DVD映像再生※2、※3時	ブルーレイディスク/DVDデータ書込時
対応機種※1	本製品が取付可能なドライブベイ(5インチベイ)とSerial ATAインターフェイス※4を搭載したDOS/Vマシン	
対応OS	Windows Vista※32bitのみ、Windows XP Service Pack 2	Windows Vista※32bitのみ、Windows XP Service Pack 2、Windows 2000 Professional Service Pack 4
搭載CPU	Pentium D 935(3.2GHz)、Core 2 Duo E6400(2.13GHz)以上	Pentium 4 (1.8GHz)以上
メモリ	512MB以上 (1GB以上推奨)	512MB以上
ハードディスク	空き容量 30GB以上 (Blu-ray映像編集時は60GB以上推奨)	
ディスプレイ	1024×768ピクセル以上の解像度	
インターネット	本製品をご利用の際には、インターネット接続環境が必要です。	
対応メディア※5	<ul style="list-style-type: none"> ●B D : BD-R、BD-RE※6、BD-ROM ●DVD : DVD+R※7、※8、DVD+RW、DVD-R※8、※9、DVD-RW、DVD-RAM※10、DVD-ROM ●C D : CD-R、CD-RW、CD-ROM 	

※1 より詳しい対応機種情報を対応製品検索エンジン「PIO」にてご案内しております。
<http://www.iodata.jp/pio/>

※2 市販のBlu-ray Discスタイルおよび市販のレコーダーで録画したBlu-rayを再生する際には、以下の環境が必要です。

- メモリ：1GB以上
- チップセット：945/955/965/975/G33/P35
- 以下の条件を満たしたグラフィックアクセラレータボード：
 - ・PCI-Express接続
 - ・NVIDIA社 GeForce 8400GS以上またはAMD社製 Radeon HD 2400以上を搭載
 - ・ビデオメモリ：256MB以上を搭載
 - ・デジタル接続の場合 HDCPCに対応したDVIもしくはHDMIコネクタを搭載
 - ・最新のドライバがインストールされていること
- ディスプレイ(デジタル接続の場合)：HDCPCに対応したDVIもしくはHDMIコネクタを搭載したディスプレイ
- ※アナログ接続での再生は2010年まで

※3 CPRM技術で録画されたDVDメディアを再生する場合は、以下を満たしている必要があります。

- グラフィックアクセラレータボード：
 - ・PCI-Express接続
 - ・最新のドライバがインストールされていること
 - ・HDCPCに対応したDVIもしくはHDMIコネクタを搭載
- ディスプレイ
 - ・HDCPCに対応したDVIもしくはHDMIコネクタを搭載

- ※4 ●Intel 915/925/945/955/965/975/G33/P35チップセット、ICH6(R)/ICH7(R)/ICH8(R)/ICH9(R)を搭載したパソコンに対応しております。
- 追加されたSerial ATA接続インターフェイスには対応していません。
- 本製品にはSerial ATAケーブル及びSerial ATA電源ケーブルは添付していません。パソコン本体に添付されていない場合は別途ご用意ください。

- ※5 ●書き込みは12cmメディアのみ対応しております。
- BD-DVD-CDへの書き込みを行う際には、各々の書き込み速度に対応したメディアが必要です。

- ※6 カートリッジタイプのBD-REメディアには対応していません。

- ※7 2層DVD+Rメディアにマルチセッションにて書き込みを行った場合、他のドライブでは最初のセッションのみ読み込みが可能です。

- ※8 2層DVD+Rメディアに、「B」s CLIPJにて書き込みを行った場合、他のドライブで読み書きできません。

- ※9 2層DVD-Rメディアへの書き込みは、ディスクアドワンスのみ対応しております。

- ※10 カートリッジから取り出し可能なメディア(TYPE II)および2.6GB/面のメディアには対応していません。

- ※11 ●推奨メディア以外を使用した場合は、メディアの品質により正常に書き込みできないことがあります。
- 最新の情報は、弊社ホームページにてご確認ください。
- メディアメーカーの生産の都合により、入手困難となる場合があります。

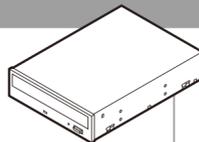
- ※12 2倍速以下のメディアは読み込みのみ対応しております。

- ※13 弊社では記載の倍速メディアにてメディアの倍速を超える高速の書き込みを確認しておりますが、全ての環境についてメディアの倍速を超える高速の書き込みを保証するものではありません。また、メディアメーカーへの本製品でのメディアの倍速を超える高速の書き込みに関するお問い合わせはご遠慮ください。

1.準備しよう

内容物を確認します

- にチェックをつけながら、ご確認ください。万が一不用品がございましたら、弊社サポートセンターにご連絡ください。



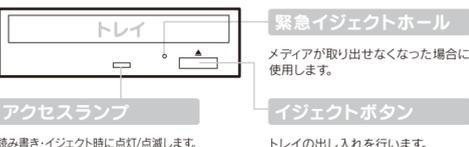
- ドライブ(1台)
- セットアップガイド(本書/1枚)
- BD ProToolsコレクション for BRD-P8 (DVD-ROM/1枚)
- Ulead DVD MovieWriter CPRM対応キーダウンロードのご案内(1枚)
- 取り付けネジ(4本)
- ハードウェア保証書(1枚)

ハードウェア保証書について

「ハードウェア保証書」と「保証規定」は、本製品の箱に印刷されております。本製品の修理をご依頼いただく場合に必要となりますので、大切に保管してください。

各部の名称

ドライブ前面



緊急イジェクトホール
メディアが取り出せなくなった場合に使用します。

イジェクトボタン
トレイの出し入れを行います。

アクセラランプ
読み書き・イジェクト時に点灯/点滅します。

注意
アクセラランプの点灯/点滅中は、パソコンをリセットしたり、電源を切ったりしないでください。故障の原因になったり、データが消失する恐れがあります。

シリアル番号(S/N)をメモします



シリアル番号(S/N)は以下の際に必要な場合があります。

最新版ファームウェア等のダウンロード <http://www.iodata.jp/lib/>

ユーザー登録 <http://www.iodata.jp/regist/>

製品仕様

ドライブ名	SW-5584(OEM供給元:リネックスコミュニケーションズ株式会社)					
インターフェイス仕様	Serial ATA					
設置条件	設置方向：水平、垂直 (書き込みは12cmメディアのみ対応)					
ディスクローディング方式	トレイタイプオートローディング					
データインターフェイス	SMB					
書き込みエラー回避機能	搭載					

	BD※1		DVD		CD		ROM	
	1層	2層	1層	2層	1層	2層	1層	2層
書き込み	×8	×8	×2	×2	-	-	-	-
読み込み	×8	×8	×2	×2	×8	×8	×8	×8

	DVD		CD		ROM	
	1層	2層	1層	2層	1層	2層
書き込み	×16	×8	×8	×16	×8	×5
読み込み	×16	×8	×8	×16	×8	×5

※1 BD×1の転送速度はDVDの×3.25に相当します。
※2 8倍速メディアに過認する際には最大4倍速となります。

書き込み方法	<ul style="list-style-type: none"> ●BD-RE : Random Access ●BD-R : Sequential Recording、Random Recording、Sequential Recording with Logical Overwrite ●DVD+R/+R DL : Sequential write、Multi-Session ●DVD+RW : Random write ●DVD-R DL : Disc at Once ●DVD-R : Disc at Once、Incremental ●DVD-RW : Disc at Once、Incremental、Restricted Overwrite ●DVD-RAM : Random Access ●CD-R/RW : Disc at Once、Session at Once、Track at Once、Packet Writing、Multi-Session
--------	--

適合フォーマット	<ul style="list-style-type: none"> ●B D : BD-ROM、BD-R、BD-RE ●DVD : DVD-Video、DVD-ROM ●C D : CD-ROM mode 1、CD-ROM mode2(form 1、form 2)、CD-Extra、CD-I、PhotoCD、Video CD、CD-DA、CD-TEXT
----------	---

電源仕様	DC +5V±5%、+12V±10%
定格電流	5V : 1.4A、12V : 1.5A
動作温度	+5~+35℃ (パソコンの動作する温度範囲であること)
動作湿度	20%~80% (結露なきこと)
外形寸法	146(W)×190(D)×41.1(H)mm (フロントパネル含まず)
質量	約900g (本体のみ)

平均アクセラタイム	<ul style="list-style-type: none"> ●BD-ROM : 230ms ●DVD-ROM : 170ms ●DVD-RAM : 1200ms ●CD-ROM : 150ms
-----------	---

2.接続しよう

- お使いのパソコンによっては、BIOSの設定が必要です。本製品が認識されない場合は、パソコンのBIOSを確認してください。パソコンのBIOSの設定方法はパソコンの取扱説明書をご覧ください。
- Serial ATAインターフェイスをRAIDモードに設定しないでください。

手順.1

パソコンと周辺機器の電源を切り、パソコンの電源ケーブルをコンセントから抜きます。

手順.2

パソコンのルーフカバー、5インチベイのカバーを外し、本製品を取り付けます。ルーフカバー、5インチベイのカバーについてはパソコンの取扱説明書をご覧ください。

手順.3

各ケーブルを接続します。

① Serial ATAケーブル

パソコン本体から出ているSerial ATAケーブルを、本製品のSerial ATAコネクタに接続します。

※本製品にはSerial ATAケーブルを添付していません。パソコン本体にSerial ATAケーブルがない場合は、別途ご用意ください。

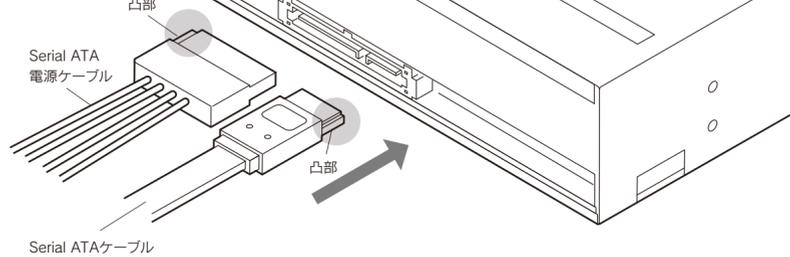
② Serial ATA電源ケーブル

パソコン本体から出ているSerial ATA電源ケーブルを本製品のSerial ATA電源コネクタに接続します。

※本製品にはSerial ATA電源ケーブルを添付していません。パソコン本体にSerial ATA電源ケーブルがない場合は、別途ご用意ください。

ケーブルには向きがあります

Serial ATAケーブルの凸部が右側、Serial ATA電源ケーブルの凸部が左側になるように挿入します。逆向きでは挿し込めないようになっていますが、無理に差し込むとすると、コネクタが破損します。
※パソコンによってSerial ATAケーブルの形状が下図と若干異なる場合があります。Serial ATAケーブルであれば仕様は同じですので、凸部の向きにだけご注意ください。ご使用ください。



手順.4

添付のネジで本製品を固定します。パソコンによって、ネジ穴の場所や数が異なります。詳しくはパソコンの取扱説明書をご覧ください。

手順.5

パソコンのルーフカバーを取り付け、ケーブルや周辺装置を元に戻します。

3.確認しよう

正常に使用できるかを確認します

パソコンを起動して[マイコンピュータ] (または[コンピュータ])を開き、本製品のアイコンが追加されていることを確認します。アイコンが追加されていれば、本製品をご使用いただけます。



↑ (画面例: Windows XP、メディア未挿入、FDドライブとして認識している場合)

- ドライブ文字(番号)は環境によって異なります。
- ドライブ名称は挿入されているメディアにより異なります。(例: Windows XPで空のDVD-Rメディアを挿入すると[CD-ROM]と表示されます。)

こんなときには?

アイコンが追加されていない場合

- [表示]メニューの[最新の情報に変更]をクリックしてみてください。
- ケーブルの接続が正しく行われていることをご確認ください。(パソコンの電源を切り、再度ケーブルを抜き差ししてください。)
- 添付DVD-ROMに収録されているQ&Aの[困ったときには]「パソコン接続時の問題」の対処をご覧ください。

注意事項

その他ご注意

- ケーブルを抜くときは、ケーブル部分を引っ張らないで、コネクタを持って抜いてください。
- 一部のウイルス対策ソフトがインストールされている場合には、動作が不安定になる場合があります。
- 本製品にメディアを入れたまま移動したり傾けたりしないでください。本製品やメディアを破損します。
- 本製品を長時間使用した場合は、一旦メディアを取り出し数分おいてから書き込みを行ってください。
- 本製品はパソコンの省電力機能には対応していません。

裏面へお進みください。➡

注意

- 本製品はドライブベイ(5インチベイ)搭載タイプです。ドライブベイに空きが無い場合は、あらかじめ搭載済みのドライブを取り外す必要があります。
- 取り付け後、フロントパネルが操作可能な機種でご利用いただけます。
- 本製品で書き込みをおこなったBDメディアは、カートリッジタイプのBD-REメディアを使用するレコーダーでは使用できません。
- DVD+R、DVD+RW、DVD-R、DVD-RWメディアで作成したDVDビデオは、既存のプレーヤー、対応のゲーム機で再生可能ですが、一部再生できない機種があります。
- BDメディアで作成したBDコンテンツは、BDプレーヤー、対応のゲーム機で再生可能ですが、一部再生できない機種があります。
- 上記の条件を満たした場合でも、環境やメディアの品質によっては、ドライブの最大性能を発揮できない場合があります。
- お使いのパソコンによってはBIOS設定が必要です。本製品が認識されない場合は、パソコンのBIOSを確認してください。パソコンのBIOSの設定方法はパソコンの取扱説明書をご覧ください。
- Serial ATAインターフェイスをRAIDモードに設定しないでください。

